



法政大学SDGsパートナーズ（H S P）

HOSEI university **S**DGs **P**artners

ご案内パンフレット



コンテンツ

CONTENTS

法政大学SDGs+(プラス)プロジェクト全体像・・・2

HSPが目指すもの・・・3

HSPの概念図・・・4

プログラム例紹介・・・5

— SDGsセミナー・・・6

— SDGsフィールドワーク
SDGsスタディツアー・・・7

— SDGsアイディアソン・・・8

— SDGs交流会・・・9

募集要項・・・10

お問い合わせ・・・11

法政大学SDGs+(プラス)推進特設部会全体像

Promotion special subcommittee of SDGs+(Plus) in HOSEI University

法政大学では、SDGsを推進するためSDGs+プロジェクトを設置しています。プロジェクトでは、「教育」「研究」「社会貢献」「学生」の4つを軸にゴールを設定し、様々な活動を展開しています。各ゴールは、パートナーシップでの目標達成を目指します。

法政大学SDGs+推進特設部会概要

教育×SDGs

EDUCATION for SDGs

ゴール1：SDGs人材育成のためのあらゆるプログラムを設置し、SDGs人材を世界中に輩出する。

4 質の高い教育をみんなに



研究×SDGs

RESEARCH & INNOVATION for SDGs

ゴール2：SDGs達成に貢献する研究を推進し、社会に発信する。

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



社会貢献×SDGs

SOCIAL CONTRIBUTIONS for SDGs

ゴール3：社会との接続を強化し、誰一人取り残さない社会を構築する。



学生×SDGs

STUDENT ENGAGEMENT for SDGs

ゴール4：学生があらゆる場所で活躍できるフィールドを提供する。

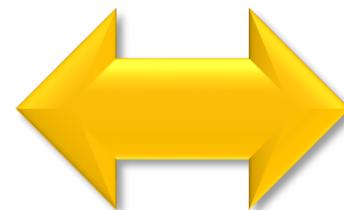


パートナーシップ×SDGs

PARTNERSHIP for SDGs

ゴール5：あらゆる課題に対して、パートナーシップで目標を達成する体制を構築する。

17 パートナーシップで目標を達成しよう



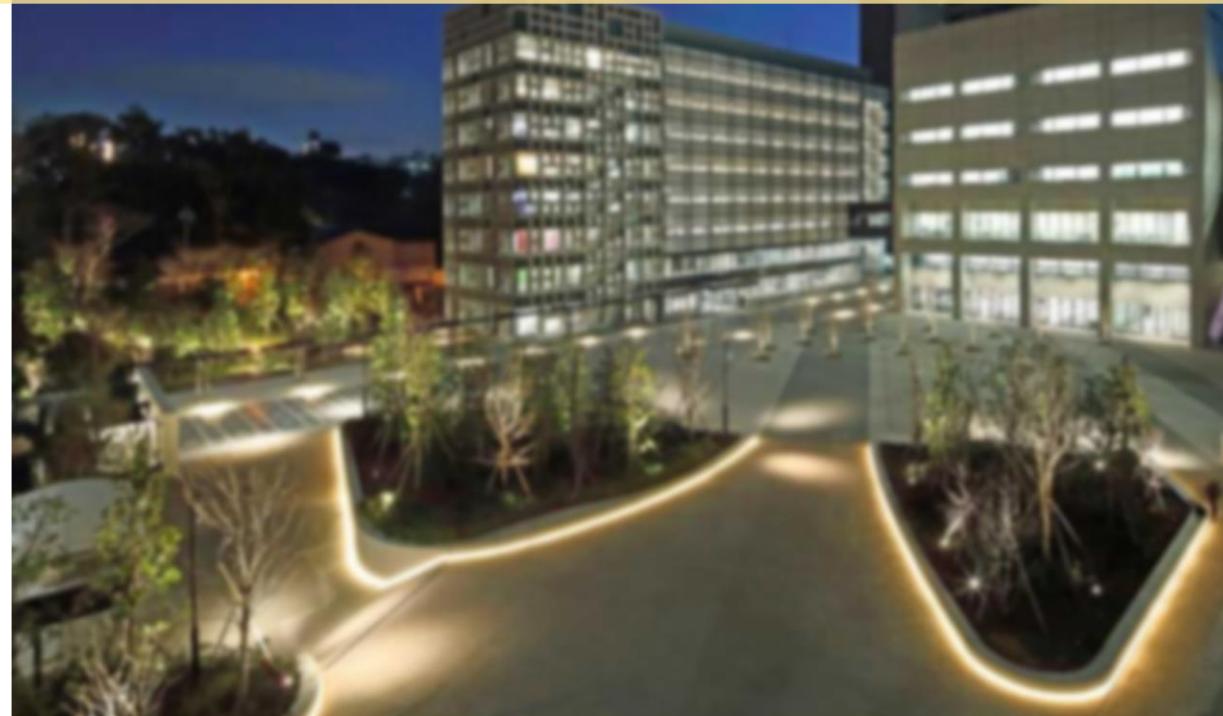
HSPが目指すもの

What the HSP aim for

-次世代のSDGs人材育成として-

本学は建学以来、「自由と進歩」を精神とし、持続可能な社会の構築と、それに資する人材の育成を重要な使命としてきました。法政大学憲章「自由を生き抜く実践知」として受け継いだ本学の精神および使命は、2015年に時と志を同じくして国連に採択されたSDGs（持続可能な開発目標）と関連づけることで具体化し、使命達成を目指しています。

「実践知」とは、予測可能性が揺らぐ現代社会の中で、現場での実践や、背景、専門性の異なる人々との血の通った連携を通じて、今ここにはない新たな知見を生み出し、答えのない問題に立ち向かうために必要な知性の在り方です。



本学はこの「実践知」を学生一人ひとりに培うため、SDGs達成のための教育・研究の推進および学外との連携による多様なプロジェクトを精力的に展開するための新しいプラットフォームとして、法政大学SDGsパートナーズ(HSP)を立ち上げました。

HSPが目指すものは「次世代のSDGs人材の育成」です。私たちが持続可能な社会の構築のためにすべきことは、今の社会の変革に加え、私たちが変革した社会を受け継ぎ、持続可能な社会を守り続けていく次世代を育成し、バトンパスをすることだと考えています。

HSPでは、法政大学が持つ知的・人的資源や教育プログラムと、産官学の多様なパートナーの皆様が有する実践力を融合させることで、新たな価値を創造し、答えのない社会的問題に、新たな解を生み出し得る次世代のSDGs人材育成を目指していきます。

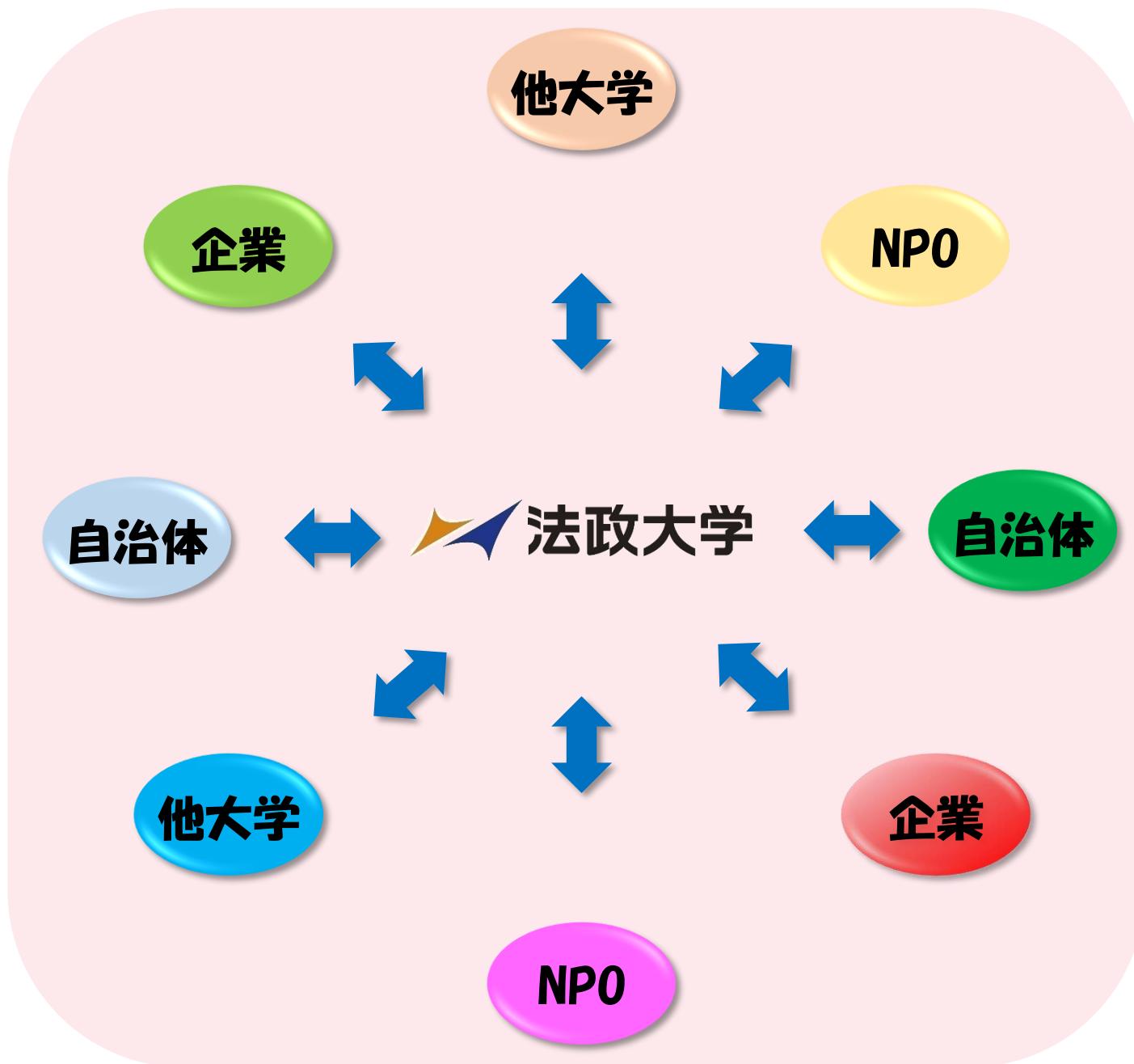
法政大学総長 廣瀬 克哉



HSP概念図

PARTNERS CONCEPTUAL DIAGRAM

法政大学SDGsパートナーズ



次世代を担うSDGs人材育成のための連携プログラム

SDGsセミナー

SDGsフィールドワーク
SDGsスタディツアー

SDGsを通じた学生と
パートナーとの交流会

SDGsに関する
アイデアソン



プログラム例紹介

PROGRAM MENU

1. SDGsセミナー
2. SDGsフィールドワーク
SDGsスタディツアー
3. SDGsアイデアソン
4. SDGs交流会





実践から学び、統合的な思考力を育む

SDGs実践知ゼミナール

SDGs実践知ゼミナールとは、SDGsの全体像の理解とSDGsを横断的に思考する力を身に付けることを目的に、自治体や企業等の様々なパートナーによるSDGs取組事例紹介を通じて、机上だけではないSDGsの実践を体験するゼミナールです。

また、多様なバックグラウンドを持つ学生がディスカッションをすることで、様々なものを見方を知る機会、さらには学生同士が教え合い、学び合うラーニングコミュニティとしての役割も担っています。

SDGsセミナー

「HOSEI SDGs WEEK」やシンポジウム等のイベントにおいて、様々なパートナーにご講演いただいています。SDGsに取り組む意義や実践例、それによる効果や今後の展望など、持続可能な社会の構築を目指すうえで必要な知識や考え方をご講演いただくことで、学生の視野を広げます。

プログラム構成

- 【第1回】 本学教員によるSDGs講義
- 【第2回】 SDGsを先進的に取り組む企業・自治体等による実践例紹介およびディスカッション①
- 【第3回】 SDGsを先進的に取り組む企業・自治体等による実践例紹介およびディスカッション②
- 【第4回】 SDGsを先進的に取り組む企業・自治体等による実践例紹介およびディスカッション③
- 【第5回】 グループディスカッション・アクションプラン提案

※全5回を予定していますが、変更になる可能性があります。

SDGs実践知ゼミナール

SUNSHOWグループ様

子どもを連れたカンガルー出勤の導入や働き方改革、多様なパートナーとの連携によるSDGs達成のための取り組みなどをご講演いただいたのち、「身近で感じるSDGs視点で見た違和感」をテーマに、グループディスカッションを実施しました。



札幌市様

札幌市がSDGsに取り組みはじめたきっかけや、フェアトレードタウンの認定、市民へのSDGsの普及と巻き込みに向けた取り組みなど、地方自治体ならではの実践例についてご講演いただきました。グループディスカッションでは、地方に若い人が住み続けてもらう方法をテーマに、意見交換などを行いました。



SDGsセミナー

内閣府様



国連が掲げるSDGsと政府が掲げるSDGsの違いや策定の背景、また重要なポイントなどについてご講演いただきました。

ローカルファースト研究所様



グローバルな目標であるSDGsをいかにローカルに落とし込んで考えるか、その重要性や実例などについてご講演いただきました。

沖縄フィールドワーク

地域の特色を活かした、
その地域ならではのフィールドワーク

教室での講義形式の知識吸収だけではなく、ローカルフィールドでの実践を肌で感じ、SDGsというグローバルな目標をローカライズすることの大切さを学ぶプログラムです。自治体様の取り組みをご紹介いただきながら、実践されている現場を見学させていただくことや、地域住民等との交流など、その地域ならではのプログラムを実施しています。



現場で学び、主体性を磨く

SDGsフィールドワーク
SDGsスタディツアー

SDGsフィールドワークでは、多様なパートナーの協力のもと、学生がSDGsが実践されている現場で学び、ローカライズ・パーソナライズされたSDGsの必要性を認識することで、私たち一人ひとりがSDGsを達成するために必要な力を持っているという、SDGsを「自分事化」することを目指します。

また、学生同士だけではなく、企業・自治体で働く社員・職員の方とのディスカッションを通して、組織としてSDGsに取り組むことを体感し、社会人として求められるSDGsを学ぶとともに、大学生だからこそその視点や観点からできるSDGsについても考え、実践させる機会を提供します。

プログラム構成イメージ

■日程

2日～5日間のプログラムを想定

■スケジュール(一例)

(1日目)

参加者自己紹介、講義

(2日目)

現場見学、振り返り

(3日目)

ディスカッション、グループワーク

(4日目)

学生発表、まとめ

※構成の組み換え、プログラムの追加等、柔軟に対応いたします。

課題解決型フィールドワーク for SDGs

SDGsとビジネスのつながり、
民間企業だからこそできることを学ぶ

MDGsとは違い、SDGsの核の1つでもある「民間企業の参画」。企業がSDGsに取り組む意義や重要性を学びつつ、SDGsを取り込んだビジネスモデルを体感するプログラムです。

職場見学や社員の方とのディスカッション、ワークショップなど、社会貢献とビジネスの新たな融合を主体的に学ぶプログラムを実施しています。





新たなオープンイノベーションを生み出す

SDGs アイデアソン

SDGsアイデアソンでは、あるテーマに対して多様なパートナーや学生が知恵を出し合い、新たなイノベーションを起こすことを目的とします。大学生ならではの柔軟な発想や消費者、市民としてのステークホルダー目線の意見が期待できます。さらには、多種多様な実践例、あらゆるリソースを持つパートナーと本学が協力し合うことで、単独では難しい課題に対してアプローチすることが可能となります。

テーマイメージ

- SDGsを軸とした企業のマテリアリティの検討
- 学生のSDGs活動の発展
- 持続可能な地域社会の構築について
- 次世代のSDGs人材育成
- 幅広い世代を巻き込んだSDGsの実践

実施の流れイメージ



陸前高田市とのSDGsワークショップ

キックオフミーティング

2020年度、2021年度に陸前高田市の事業者が抱えるSDGsの課題に対して、学生たちがグループごとに事業者とディスカッションを行い、解決策を提案するワークショップを実施しました。

陸前高田市からは4つの事業者様に参加いただき、キックオフミーティングを実施しました。



最終報告会

キックオフミーティング以降、各グループと事業者で数回のディスカッションを重ね、現状分析、事業者の方々との検討を重ねたプラン、貢献・達成するSDGsゴールなどを発表しました。学生が主体的に行った現状分析、学生の視点で捉えた課題、学生ならではのアイデア、事業者同士・チーム同士での連携など、内容の濃いプレゼンテーションとなりました。

また、各事業者において、学生たちの発表をポスターや便りとして発行したり、実現に向けて少しずつ始動しています。

伊東文具店様(陸前高田市)で発行されている便り



学生たちの提案プランポスター展示



4 SDGs交流会

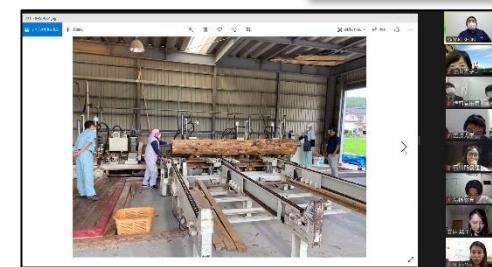
事例紹介

学生との交流会

学生との交流会では、パートナーと学生の取り組みを紹介しつつ、幅広いテーマでディスカッション・交流することを目的としています。また、双方が持つリソースを上手く融合させ、新たな価値を創出する場を目指します。



実施方法については、対面での実施はもちろん、オンライン会議ツールを活用し、空間的制約を超えて、多様な地域のパートナーとの実施を目指します。



パートナーシップの輪を広げる

SDGs交流会

交流会の目的

SDGs交流会は、パートナーと学生の連携を深めることを目的としています。次世代を担う学生としてだけでなく、ステークホルダーとしての視点や意見も期待することができます。

さらには、パートナー同士の連携促進も目指します。パートナー同士がシーズやニーズを発信し合うことでマッチングが可能となり、新たな連携の可能性や、SDGs達成のための取り組みを実現することが可能となります。

プログラム構成イメージ

【学生との交流会】

- パートナーの紹介
- テーマ設定、説明
- 複数グループに分かれて交流
- まとめ

【パートナーズ交流会】

- 法政大学のSDGs取組紹介
- パートナーの取組紹介
- 学生の取組報告
- ニーズ・シーズ発信コーナー
- 懇親会

パートナーシップでのSDGs達成に向けて

SDGs達成のためには、パートナーシップが重要と言われています。まずはパートナー同士がどのような取り組みを推進しているかを報告会で紹介いただくことや、情報交換会等でコミュニケーションを図ることで、様々な連携の可能性が見えてくると考えます。定期的にコミュニケーションの機会を設けます。

HSP交流会

HSP交流会では、年間の実績報告や学生活動発表、様々なパートナーとの取組について講演形式での紹介、本学教員によるSDGs学習会、新たな連携の可能性を見つける場としての情報交換会等、SDGs推進に必要な情報の共有、さらにはパートナーシップの輪を広げることを目的としています。



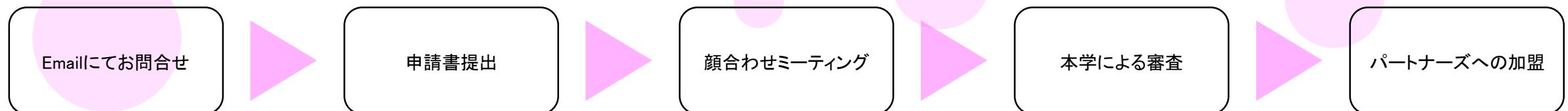
実施方法については、対面開催と、オンライン会議ツールを活用したオンライン開催をそれぞれ開催し、あらゆるパートナーが参加しやすいよう工夫しています。



募集要項

APPLICATION INFORMATION

1. **名称:**法政大学SDGsパートナーズ(HSP)
2. **目的:**多様なパートナーと協同し、持続可能な社会の構築を担う次世代のSDGs人材の育成を行う。
3. **対象:**HSPの趣旨に賛同する企業・自治体・NPO・他大学等のうち、実現可能性がある連携事業等がある者。ただし、次の各号のいずれも該当しない者。
 - (1)法令等に違反している者
 - (2)公序良俗に反する活動をしている者
 - (3)反社会的勢力、あるいは反社会的勢力と関わりがある者
 - (4)その他適当でないと法政大学が認める者
4. **活動内容:**
 - (1)パートナーにおける持続可能な社会の構築の推進に関する事項
 - (2)本学の持続可能な社会の構築のための教育研究に関する事項
 - (3)その他、双方が協議し必要と認める事項
5. **HSP会費:**なし。必要に応じて各自が実費を自己負担する。
6. **期間:**毎年度4月1日から毎年度末(3月31日)の1年間とし、期間満了までに双方からの特段の意思表示がなければ、次年度も継続する。その後も2030年度末まで同様とする。
7. **応募方法:**次頁のお問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。



※審査は約1週間程度かかります。

お問い合わせ

INQUIRY

HSPに関するお問い合わせは、以下までお願いいたします。

法政大学SDGs+(プラス)推進特設部会事務局

Tel: 03-3264-9931

Email: kyogaku@hosei.ac.jp

